



**日本財団**  
The Nippon Foundation

助成事業

研究資料 No.11-04

# e-Navigation 戦略の実施 に関する調査研究

**概 要**

(2011 年度報告書)

2012 年 3 月

財団法人 日本船舶技術研究協会

## はしがき

本報告書は、日本財団の 2011 年度助成事業「船舶関係諸基準に関する調査研究」の一環として、e-Nav プロジェクトにおいて実施した「e-Navigation 戦略の実施に関する調査研究」の成果をとりまとめたものである。なお、本調査研究は、2010 年度に引き続き、本プロジェクトにおいて実施したものである。

本プロジェクトでは IMO（国際海事機関）/ NAV（航行安全小委員会）及び COMSAR（無線通信及び捜索救助小委員会）での審議に関する検討として、e-Navigation 戦略の実施に関する調査研究を実施した。具体的には、e-Navigation 導入に向けた対応策の検討、e-Navigation に関する海外動向調査、及び航海支援機器に関するユーザビリティ評価手順ガイドラインの策定を行った。

## 目 次

1. はじめに（調査研究の背景・目的） .....	1
1.1 背景及び目的.....	1
1.2 調査研究の内容.....	1
2. プロジェクトの活動状況.....	3
3. IMOでの審議状況.....	4
3.1 IMO第15回無線通信・捜索救助小委員会（COMSAR15）の報告.....	4
3.2 IMO第57回航行安全小委員会（NAV 57）の報告.....	9
4. e-Navigationコレスポネンス・グループ（CG）対応.....	13
4.1 第57回航行安全小委員会までのCG対応.....	13
4.2 第58回航行安全小委員会に向けたCGへの対応.....	15
5. e-Navigationに関する海外動向調査.....	43
5.1 概要.....	43
5.2 Efficien Sea プロジェクトの最終報告会.....	43
5.3 第10回国際航路標識協会e-Navigation会議（IALA e-NAV10） .....	47
5.4 その他の動向.....	49
6. 航海支援機器のユーザビリティを評価する手法の確立に関する調査研究.....	58
6.1 概要.....	58
6.2 E-NAVIGATION UNDERWAYでの発表.....	58
6.3 E-NAVIGATION UNDERWAYの報告（全般） .....	66
6.4 ユーザビリティワークショップの報告.....	81
6.5 まとめ.....	88
7. おわりに.....	89
. 添付資料.....	90
添付資料 1 NAV 57/6/5_Proposal for a way forward on the development of usability assessment methodology for navigational equipment	
添付資料 2 NAV 57/INF.7_Preliminary Draft Guidelines for Usability Evaluation of Navigational Equipment	
添付資料 3 NAV 57/INF.8_Sample summary report of usability	

発行者 財団法人 日本船舶技術研究協会  
〒107-0052  
東京都港区赤坂 2-10-9 ラウンドクロス赤坂

電話 : 03-5575-6425 (代)  
ファックス : 03-5114-8940 (代)  
ホームページ : <http://www.jstra.jp/>

---

本書は、競艇の交付金による日本財団の助成金を受けて  
作成しました。

本書の無断転載・複写・複製を禁じます。

